

元高砂市議 緑の党グリーンズジャパン会員



[事務所] 兵庫県高砂市荒井町御旅 1-5-6

[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail: ioku3@gmail.com

http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

# 井奥まさきの市政ニュース

2014. 8 (月刊+ : 8月上旬号 通算 91号)

「井奥まさき」  
で web 検索を

## 議員成績表

## 議員活動の実績 市民の皆さんに一つの判断材料を提供します

会派	名前	期数	年齢	質問回数	備考
新政会 (9人の最大会派)	いくしま洋一	9	71	7(+4)	自民党公認予定 議長1年
	池本晃	9	69	1(+4)	自民党公認予定 議長1年
	西野勝	8	76	0(+4)	副議長1年
	今竹大祐	7	63	4(+4)	議長1年
	入江正人	4	62	2(+8)	副議長1年・議長1年
	北畑てつや	3	63	5	
	鈴木まさのり	2	68	3	
	ふじもり誠	2	63	2	
	川端ひろあき	1	56	4	
公明	砂川たつよし	3	62	11(+4)	公明党公認予定 副議長1年
	森ひでき	1	50	11	公明党公認予定
	さこ川高行	1	46	14	公明党公認予定
民主ク	よこ山義夫	4	59	6	
	ふくもと昇	3	59	3(+4)	副議長1年
財福ネ	鈴木利信	3	54	15	
	木谷かつろう	2	65	15	
共産	小松みきえ	5	69	14	共産党公認予定
	大塚よしこ	2	59	15	共産党公認予定
無	松本ひとし	5	61	15	
無	きたの誠一郎	5	53	14	
無	たかお治久	1	49	8	
無	中西かずとも	1	38	15	

### 元高砂市議 井奥まさき

恒例の議員成績表を発表します。全15回の代表・一般質問の機会です。例え、「1強」の最大会派、新政会の平均質問回数は議長・副議長の期間を考慮にいれても**15回中平均わずか5.8回!**他の会派、例えば同じ国政与党でも公明会派は13回以上質問を行っています。

もちろん質問の内容の「質」も問われますが、わずか1年に4回しかない質問の機会を半分以上も放棄する理由にはなりません。玉石混交の最大会派の姿が浮き彫りになりました。ちなみに**私井奥**は現職時代は**すべての一般質問(代表質問も含む)を実施**しています。

市政ウォッチングより 期数・年齢・通称は選挙報道資料より 公認情報は独自取材 2010年9月～2014年3月までの全15回の代表質問あるいは一般質問の実施数を表示。( )内は議長・副議長のため質問しにくい期間(実施している議員もいます)

### 緑の党

### 8月31日～9月7日高砂市議選 緑の党公認が決定しました



緑の党全国運営委員会にて、私井奥まさき(48歳)の「高砂市議選 緑の党公認」が決定しましたので報告します。全国で二例目、西日本初です。

なお、全国共同代表の中山ひとしさん(新潟市議、歯学博士)から以下のメッセージをいただいています。

「日本の「自治」と「民主主義」を再生し、緑の政治を地域から創るため、井奥さんの知識・経験、能力、行動力は欠かせません。

日本と世界の未来の子どもたちの希望への道をこの挑戦の成功によって切り開きましょう。」

### 緑の党

### ローカルマニフェスト(第一次案)を発表

8月9日に緑の党は2015年4月の統一地方選挙に向けたローカルマニフェストの第一次案を発表しました。人口減少社会を迎える中、今までにない発想力で地域社会をつくりあげていく必要があります。それは「お任せ民主主義」

から抜け出した市民が中心になって作っていくという全体コンセプトで貫かれています。個別に見れば、緑の党が得意のエネルギー政策・環境政策はもちろん「動物福祉」などユニークな項目もあります。「環境だけ」ではない総合政

### 緑の党+井奥雅樹

策政党として、財政・経済政策や子ども政策・福祉政策などにも幅広く触れられています。全国の仲間たち・学者らと一緒に政策を練り上げることができるのが全国政党の良さです。私も参加して秋以降もより充実させます。

●緑の党の政策を紹介します。ローカルマニフェストは緑の党HPにて

■私、井奥は生嶋議長に「政務調査費・政務活動費について臨時議会で議論がなかったこと」を抗議し、制度改正への申し入れを提出しました

ごみの広域化反対派の方々と公開討論をする準備があります。とにかく今の高砂市の炉を動かさし続ける方が危険でコストが高くなります。

# 子育て日記 かわいいけど、赤ちゃんは泣き出すと大変だね by 息子



「かわいいねえ」  
7月27日の臨時事務所開設に緑の党共同代表の長谷川さんが赤ちゃん連れで参加してくれました。娘は大喜びでイソイソと相手をしています。いきなり抱っこをしだして、落っこしそうになり、周りのみんなが慌てる場面もありました。息子はこわがわと、でも「かわいいねえ」と遠巻きにじっ

とながめていました。  
**泣き出すと大変** そういえば…  
いろいろな大人に相手をされ慣れているのか、ニコニコと抱かれていた赤ちゃんでしたが、ちょうど長谷川さんが話をしている時に大泣き。娘と息子だけでは手におえず、妻も妻の母もあやしますが火がついたように泣き出して止まりません。「そういえば、赤ちゃんてそうだったよなあ」と思わず思い出しました。

**かわいいけど大変だね**  
結局、おなかがすいていたようで、話し終えた長谷川さんからお乳をもらってまたご機嫌になりましたが、息子は「かわいいけど大変だね」としみじみ。赤ちゃんとのふれあいは子どもたちにとってもいい勉強になったようです。  
ちなみに高砂市でも「赤ちゃん先生」という赤ちゃんと子どもの交流事業を実施している地域もあるそうです。いいことですね。

## 中学校給食 子ども子育て日本一③ 中学校給食は「実施すること」が全国標準なんです

	実施率
小学校給食	99.2%
中学校給食	85.4%

でも、実は数は少ないですが全国には存在します。一方、中学校給食の全国実施率は平成22年度時点で8割以上。兵庫と大阪・神奈川など一部地域が普及していなかっただけであり、それも急速に実施校が増えています。  
**「標準」だから国の財政措置も**  
また、国が地方交付税で「標準的にこれは地方が実施すべき」という事業に中学校給食は入ってお

り、財政措置されています。高砂市ではそのお金は別の事業に使われているのです。  
**即時実施、自校方式以外も検討を**  
文科省の統計データからは「自校方式」の率は4割程度という実態も明らかになっています。栄養教諭が大規模校しか配置されておらず、民営化100%の高砂市は「形だけ」の自校方式です。より良い手段も議論すべきです。

## ゴミ焼却施設 早急に「誰でも参加できる」市長と語る会を実施し、公開議論を

	反対派	井奥の考え
広域処理	反対 2市2町それぞれ単独で	<b>ここが違う！</b> 2市2町規模なら環境にも財政にも優しい
ゴミ減量	ゴミ減量を適正な規模に	ゴミ減量は重要だし、数値目標と手段も議論すべき
市民への説明	なぜ高砂市か、なぜ梅井か不十分	不十分 誰でも参加できる市長と語る会や議会報告会を
交通	渋滞懸念	懸念あり 自主ルール制定など対応を

居眠り市長と最大会派が推進するために信頼されていませんが、「2市2町の広域化」は理にかなった政策です。現在の加古川市・高砂市の炉がトラブル続きという現状を率直に言うべきです。ただ、「2度もゴミ焼却施設を受け入れ、さらに規模を大きくして3度目か」という梅井周辺の住民の意見には公開の場で丁寧やりとりすべきです。

ストーカー炉	流動床方式	ガス化溶融炉
広域炉に採用予定(日量429トン)	加古川市の現在の炉(日量432トン)	高砂市の現在の炉(日量194トン)
運用実績が長く安定 全国的に回帰へ灰はセメント	新方式のためトラブル・コラストが問題に(特に灰溶融)	国が先導して新方式を進め大失敗。トラブル多発、コスト高(灰溶融も大失敗)

●このニュース作成者 **井奥まさき** はこんな人

□井奥まさきプロフィール 1965年生まれ。48才。伊保小学校から淳心学院中・高校をへて岡山大学法学部へ。国際交流団体ピースボートや国会議員秘書などをへて、高砂市議3期11年間。家族は妻と子ども二人。荒井町新浜在住。母は元幼稚園教諭、父(故人)は元山陽電車勤務。

●井奥まさきの主張  
**居眠り自治体・高砂市を先進自治体へ**  
・エネルギー産業で仕事づくり  
・子ども子育て日本一へ  
・市役所も市議会も改革  
そして…市民病院のあり方は市民参加で決める

登市長が「誰でも参加できる市長と語る会」を廃止したことが「ゴミ広域化議論の混乱の原因です。当事者以外も含めた冷静な議論ができないからです。早急に復活を